



▲汲み取り式トイレは「安全・安心・快適」が

新島中央公園トイレ改修を

答弁＝実情調査のうえ改善を検討

平成12年度に策定された「ウォーターフロント整備基本計画」は、工業団地の造成により薄れてきた「海辺と町民の関わり」を取り戻していくこととする試みの一つであるが、その中で様々な整備が進められてきた。この計画の中の一つとして、今年度は新島中央公園関係などの整備が予定化されているが、新島球場においては、県内外から年間約2万人程の利用者がある。駐車場は狭く、また特に球場近くにトイレのみ設置されているトイレは、未だ汲み取り式で、暗く危険な状況です。改修や増設は予定されているが、

答弁＝木村理事

平成16年度には「望海公

園のトイレを先行して整備した。このように、順次整備を進めている。今後の事業については、住民のニーズ、財政状況、必要性や他の事業の進行状況なども踏まえて事業の方向性を見出したい。今年度については、新島内の企業や利用団体から駐車場の整備とトイレの改修の要望があり、現在の実情を調査し、急がれる部分の改修を検討するための測量と概略設計を実施する。なお、駐車場については利用台数を少し増す方向での整備と、トイレについては現在設置されていない身障者用トイレを含めて、新設あるいは現施設を使用できるのであれば改修も含めての検討を行う予定です。



河野 照代

西小通学路の安全策は

播磨西小学校、播磨西幼稚園に隣接した南北に走る一町道本荘市田線は、大きくカーブを描いて、見通しが悪いうえ、小学校、幼稚園の各出入口が非常に危険です。この状況に対し、道路形状の整備や建物の改善などによって、子ども達の安全確保の為に何か対策はとれないのか。

答弁＝木村理事
更なる改善策を模索

従前の道路を地域住民をはじめ、水利組合などにも協力を得ながら整備に努め、安全確保のため速度制限の規制などを補いながら現在の形態となっている。見通しが良くないことは承知しており、更なる改善策を模索していく。



▲税金の相談で混雑する窓口

国に増税中止の要望を

答弁＝要望は考えていない



日本共産党代表

中西美保子

神鋼と公害防止協定を

国保税の引下げを

今年の6月から定率減税が全廃され、昨年に続き住民税が大増税で1万4千人程に影響があります。高齢者控除の廃止や年金支給額の引き下げで住民生活は大変苦しくなっています。反対に、大企業や大金持ちには減税して逆立ち政治が行われています。国に対して住民税の増税中止の要望を。

国民健康保険料が高すぎて払えない方が続出しています。保険証の取り上げは275世帯あります。小さい子どもも含まれています。一般会計からの繰り入れで国保税の引き下げを。国庫補助率の引き上げを国に求めています。

答弁＝柘田理事

答弁＝柘田理事
住民理解が得られない

平成19年度実施の「町民税・県民税」税制改正については、地方税法の改正を受けて、昨年の4月議会で承認をいただき「多くの方が所得税が減り、町民税・県民税が増えることとなります」と広報またはホームページに掲載をし、周知しているところであり、要望することは考えていません。

国民健康保険事業の財源は、国・県支出金と保険税で賄われるのが原則で、法定分以外の一般会計からの繰り入れは、国保以外の保険制度の加入者にとって、税負担の公平性を欠くもので、住民の理解を得られません。また、国庫補助率の引き上げの要望は、国の財政事

「公害防止協定」は現在の枠組みが、地域の行政機関である市町と、県と事業所との3者協定となっており、その枠組みの変更は、困難なものです。降下ばい塵における環境基準は高く、事業所からの排出の特定は困難であり、(株)神戸製鋼所への健康被害、生活被害に対する個人補償の必要性を特定することは容易ではありません。

答弁＝柘田理事
枠組みの変更は困難

情を助案して出来ません。

住民から「黒いですが落ちてくる」「喘息を健康への影響が心配」などの声を聞きます。庁舎屋上の降下ばい塵の量は月平均3.4t/km、内4割は鉄系・炭素系で(株)神戸製鋼所の影響が大きいです。播磨町も(株)神戸製鋼所と公害防止協定を結び、健康被害、生活被害の補償を。